

基準2 教育組織及び教員・教育支援者等

<p>評価の視点</p> <p>2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。</p>	
<p>観点2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 準学士課程の目的と卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）において、全ての学科に係る記述が明確になっていることを分析すること。</p> <p>○ 学科ごとの目的が、高等専門学校設置基準の規定に適合しているかどうかとともに、本評価書Ⅱに記載した学校の目的に適合しているかについて分析すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第116条 (設)第4条、第4条の2、第5条、第27条の3</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 学科の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したものの。）及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。</p> <p>■整合性がとれている</p> <p>□整合性がとれていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◆学校の目的及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有した学科の構成となっていることについて、資料を基に記述する。</p> <p>資料 2-1-1-(1)-01 基本理念および養成すべき人材像がわかる規則 出典「福井工業高等専門学校の基本理念等に関する規則」</p> <p>資料 2-1-1-(1)-02 学科、学級、入学定員及び職員組織がわかる資料 出典「福井高専学則(抜粋)第3章」</p> <p>資料 2-1-1-(1)-03 教育目標がわかる資料 出典「福井高専要覧 2018 p.1」</p> <p>※現在の学科構成は本校の基本理念（資料 2-1-1-(1)-01）に掲げた環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行うための5学科から成り、その編成は高等専門学校設置基準の規定に適合している（資料 2-1-1-(1)-02）。各学科では、本校の養成すべき人材像に基づいた教育方針、ならびに学習・教育目標が定められ、教育の目的が達成されるようになっている（資料 2-1-1-(1)-03）。</p>
<p>観点2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 専攻科課程の目的と修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）において、全ての専攻に係る記述が明確になっていることを分析すること。</p>	

○ 専攻ごとの目的が、学校教育法の規定に適合しているかどうかについて分析すること。	
関係法令	(法)第119条第2項
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 専攻の構成が学校の目的（本評価書Ⅱに記載したもの。）及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整合性がとれている <input type="checkbox"/> 整合性がとれていない	<p>◇本評価書Ⅱに記載したもの以外に専攻科規程等があれば、それがわかる資料 資料 2-1-2-(1)-01 専攻科規定がわかる資料 出典「専攻科委員会規則」</p> <p>◆学校の目的及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を有した専攻の構成となっていることについて、資料を基に記述する。 （再掲）資料 2-1-2-(1)-01 専攻科規定がわかる資料 出典「専攻科委員会規則」 資料 2-1-2-(1)-02 専攻科のディプロマ・ポリシーがわかる資料 出典「福井高専学校要覧 2018 p.8」 資料 2-1-2-(1)-03 専攻科の構成がわかる資料 出典「福井高専学校要覧 2018 p.34」 資料 2-1-2-(1)-04 専攻科の学習・教育目標がわかる資料 出典「福井高専学校要覧 2018 p.2」 資料 2-1-2-(1)-05 JABEE 認定証 出典「福井高専学校要覧 2018 p.10」</p> <p>※本校の専攻科課程の2専攻（資料 2-1-2-(1)-03）は本科の教育課程を基礎に構成されたものであり（資料 2-1-2-(1)-01）、得意とする技術専門分野の知識と能力を深め（資料 2-1-2-(1)-04）、異なる技術専門分野に関する知識と能力を育成することができる融合複合化された教育プログラムを有し、日本技術者認定機構(JABEE)から社会の要求水準を満たした技術者教育プログラムであるとの認定を受けている（資料 2-1-2-(1)-05）。それらはディプロマ・ポリシー（資料 2-1-2-(1)-02）と整合するものである。</p>
観点 2-1-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	
【留意点】なし。	

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備しているか。 ■整備している □整備していない	◇教育活動を有効に展開するため必要と考えられる教務・学生支援・入試等の委員会の組織体制がわかる資料（当該事項を審議するための組織の構成図、運営規程等） 資料 2-1-3-(1)-01 組織の構成がわかる資料 出典「福井高専学校要覧 2018 p.13」 資料 2-1-3-(1)-02 内部組織規則がわかる資料 出典「福井工業高等専門学校内部組織規則」 資料 2-1-3-(1)-03 事務組織規則がわかる資料 出典「福井工業高等専門学校事務組織規則」 資料 2-1-3-(1)-04 教員会議規則がわかる資料 出典「福井工業高等専門学校教員会議規則」 資料 2-1-3-(1)-05 教務委員会規則がわかる資料 出典「福井工業高等専門学校教務委員会規則」 資料 2-1-3-(1)-06 入学試験委員会規則がわかる資料 出典「福井工業高等専門学校入学試験委員会規則」
(2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか。 ■行っている □行っていない	◇活動が行われている実績がわかる資料（当該事項の審議内容を記した会議の議事要旨等） 資料 2-1-3-(2)-01 教員会議の活動実績がわかる資料 出典「平成 30 年 11 月定例教員会議議事要旨」 資料 2-1-3-(2)-02 教務委員会の活動実績がわかる資料 出典「平成 30 年度 1 月第 2 回教務委員会議事要旨」 資料 2-1-3-(2)-03 入試委員会の活動実績がわかる資料 出典「平成 31 年 1 月第 2 回入試委員会議事要旨」 資料 2-1-3-(2)-04 各会議・委員会開催頻度がわかる資料 出典「事務部作成資料」
2-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	
該当なし	
評価の視点	
2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。	
観点 2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教	

員が適切に配置されているか。	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書Ⅱに記載した学校の目的に沿って編成された教育課程を展開するために、必要な教員が配置されていることを分析すること。</p> <p>（例1）目的に「国際的コミュニケーション能力を育成する」を掲げている場合、英語担当教員の配置の充実や、ネイティブスピーカーの配置の充実等。</p> <p>（例2）目的に「実践的技術者を育成する」を掲げている場合、技術資格を有する者や実務経験を有する者を効果的に配置するなど。</p> <p>○ (1)(2)に関し、専任教員数には助教の数も含めることができる（助手は除く。）。</p> <p>○ (4)(5)については、非常勤講師についても分析すること。</p>	
関係法令	(法)第120条 (設)第6条、第7条、第8条、第9条
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	<p>◇【別紙様式】高等専門学校現況表</p> <p>※高等専門学校設置基準第8条では「専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数は、一般科目を担当する専任教員数と専門科目を担当する専任教員数との合計数の二分の一を下つてはならない」とされている。本校の在籍教員数（H31.5.1現在）は73名、その2分の1の数は36.5名である。したがって、専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数は37名以上必要となる。現在本校に在籍する専門科目の教授及び准教授の数は37名であるため、本校は法令にしたがい専任教員数を確保していえる。</p>
<p>(2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	
<p>(3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。</p> <p>■確保している</p> <p>□確保していない</p>	
<p>(4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。</p> <p>■担当が適切である</p> <p>□担当が適切でない</p>	◇【別紙様式】担当教員一覧表等
<p>(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■博士の学位</p> <p>■ネイティブスピーカー（担当する言語を母国語とする）</p> <p>■技術資格</p> <p>■実務経験（教育機関以外の民間企業等における勤務経験者等）</p> <p>□海外経験</p>	<p>◆配慮事項として掲げる博士の学位、ネイティブスピーカー、技術資格、実務経験、海外経験、その他の具体的な内容について、資料を基に記述する。</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、具体的な配慮事項を記述する。</p> <p>※別紙の担当教員一覧表に示すとおり、専門分野の知識や技術、研究の指導を行うため、専門学科の教員のほとんど</p>

<input type="checkbox"/> その他	が博士の学位を有している。また、ネイティブスピーカー 1 名を配置し、英語教育やグローバル人材の育成にも力を入れている。さらに、技術士の資格を有する教員や実務経験のある教員の配置によって、より実践的なエンジニアの育成が図られている。
観点 2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。	
<p>【留意点】</p> <p>○ 本評価書Ⅱに記載した目的や修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて編成された教育課程を展開するために必要な教員が配置されていることを分析すること。</p> <p>（例）目的に「応用開発型技術者を育成する」を掲げている場合、博士取得者、技術資格を有する者や実務経験を有する者を効果的に配置するなど。</p> <p>○ 本評価書Ⅰ(1)4.において、特例適用専攻科について記載した場合は、その結果を利用できる。利用する場合は、当該結果を根拠として本観点全体の判断を行うこととし、根拠理由欄に、この結果を踏まえた根拠理由を記述すること。自己点検・評価結果欄の各項目について、個別の記入は要しない。</p>	
関係法令	(法)第 119 条第 2 項
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない</p> <p>（根拠理由欄）</p> <p>特例適用の審査結果により、各分野の研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されている。</p>	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切に確保している <input type="checkbox"/> 適切に確保していない	◇【別紙様式】担当教員一覧表等 ◆左記について、資料を基に記述する。
(2) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当が適切である <input type="checkbox"/> 担当が適切でない	※別紙の担当教員一覧表に示すとおり、専門分野の知識や技術、研究の指導を行うため、専門学科の教員のほとんどが博士の学位を有している。また、技術士の資格を有する教員や実務経験のある教員も配置され、異なる領域の専門性を理解するエンジニアの育成や研究指導を行っている。
(3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当が適切である <input type="checkbox"/> 担当が適切でない	◇適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当していることがわかる資料
観点 2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が	

講じられているか。	
【留意点】なし。	
関係法令	(設)第6条第6項
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない</p>	<p>◇教員の年齢構成がわかる資料（観点4-3-①の、教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する根拠資料を流用してもよい。）</p> <p>資料 2-2-3-(1)-01 教員の年齢構成がわかる資料 出典「事務部作成資料」</p> <p>◆配慮の取組について、資料を基に記述する。 ※再雇用教員、非常勤教員を除き、教員の年齢構成を考慮して新規採用を配慮している。その結果、資料 2-2-3-(1)-01 に示すとおり、年齢構成における著しい偏りはみられない。</p>
<p>(2) (1)以外に配慮している措置はあるか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 教育経歴 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 男女比 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◇左記でチェックした項目について、実施状況がわかる資料</p> <p>資料 2-2-3-(2)-01 教員の職階別男女比がわかる資料 出典「事務部作成資料」</p> <p>※教員公募において能力が同等である場合には積極的に女性を採用しているが、男性の応募が圧倒的に多い中での選考により、結果的に男性が多く配置されている。</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>
<p>(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置等はあるか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p><input type="checkbox"/> 学位取得に関する支援 <input type="checkbox"/> 任期制の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 公募制の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 教員表彰制度の導入 <input type="checkbox"/> 企業研修への参加支援</p>	<p>◇左記でチェックした項目について、実施状況がわかる資料</p> <p>資料 2-2-3-(3)-01 公募制を導入していることがわかる資料 出典「教員公募案内例」</p> <p>資料 2-2-3-(3)-02 教員表彰制度を導入していることがわかる資料 出典「校長表彰規則」</p>

<p> <input checked="" type="checkbox"/> 校長裁量経費等の予算配分 <input checked="" type="checkbox"/> ゆとりの時間確保策の導入 <input type="checkbox"/> サバティカル制度の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 他の教育機関との人事交流 <input type="checkbox"/> その他 </p>	<p> 資料 2-2-3-(3)-03 教員表彰の状況がわかる資料 出典「 事務部作成資料（平成 29 年度校長表彰一覧）」 資料 2-2-3-(3)-04 校長裁量経費等の予算配分がわかる資料 出典「事務部作成資料」 資料 2-2-3-(3)-05 ゆとり時間の確保策（変形労働時間）を導入していることがわかる資料 出典「教員の時間外労働等に関する取扱要項(抜粋)第 2 条」 資料 2-2-3-(3)-06 ゆとり時間の確保策（代休振替日）を導入していることがわかる資料 出典「時間割編成作業マニュアル」 資料 2-2-3-(3)-07 他の教育機関との人事交流の状況がわかる資料 出典「事務部作成資料（平成 18～27 年度）」 ◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。 </p>
<p>2-2 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点 2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。</p>	
<p>観点 2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p> 観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない </p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 全教員（非常勤教員を除く。）に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備しているか。</p>	<p> ◇教員評価に係る規程等がわかる資料 資料 2-3-1-(1)-01 授業アンケートを実施していることがわかる資料 出典「授業アンケート集計結果例」 資料 2-3-1-(1)-02 研究活動評価を実施していることがわ </p>

<p><input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない</p>	<p>かる資料 出典「研究活動評価シート」</p>
<p>(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない</p>	<p>資料 2-3-1-(1)-03 教職員面談を実施していることがわかる資料 出典「教職員面談シート」</p> <p>※上記資料や複数教員からの意見を基に学校長が評価を行い、適切に運用されていることを訪問調査時に内部資料を用いて説明する。</p> <p>◇給与や研究費配分に活用することとしているか、教員組織の見直し等に活用することとしているかがわかる資料 (再掲) 資料 2-3-1-(1)-02 研究活動評価を実施していることがわかる資料 出典「研究活動評価シート」 (再掲) 資料 2-3-1-(1)-03 教職員面談を実施していることがわかる資料 出典「教職員面談シート」</p>
<p>(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。(該当する選択肢にチェック<input checked="" type="checkbox"/>する。)</p> <p><input type="checkbox"/> 給与における措置 <input checked="" type="checkbox"/> 研究費配分における措置 <input type="checkbox"/> 教員組織の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 表彰 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。 (再掲) 資料 2-2-3-(3)-02 教員表彰制度を導入していることがわかる資料 出典「校長表彰規則」 (再掲) 資料 2-2-3-(3)-04 校長裁量経費等の予算配分がわかる資料 出典「事務部作成資料」</p> <p>◆評価結果を具体的にどのように活用しているのか、資料を基に記述する。 ※校長表彰された教員や校長裁量経費を活用した教員がFD講演会の講師となり、他の教員に対して表彰の対象となった内容や校長裁量経費(資料 2-2-3-(3)-04)によりなされた教育研究活動を紹介している。</p>
<p>(4) 非常勤教員に対し教員評価を実施しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない</p>	<p>◇教員評価に係る規程等を定めた資料</p> <p>◇実施していることがわかる資料 ※教員評価の規定はないが、授業アンケート (資料 2-3-1-</p>

	<p>(1-01) で著しく評価が低い教員に対しては、教務主事が確認を行っている。また、授業アンケート結果も踏まえ、教務委員会において毎年任用計画（資料 2-3-1-(4)-01）をもとに非常勤教員の審査（資料 2-3-1-(4)-02）を行っている。</p> <p>（再掲）資料 2-3-1-(1)-01 授業アンケートを実施していることがわかる資料 出典「授業アンケート集計結果例」</p> <p>資料 2-3-1-(4)-01 非常勤講師の任用計画がわかる資料 出典「平成 30 年度 3 月第 1 回教務委員会資料」</p> <p>資料 2-3-1-(4)-02 非常勤講師の任用審査がわかる資料 出典「平成 30 年度 2 月第 2 回教務委員会議事録」</p>
<p>観点 2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (3)の◆の自己評価において、採用や昇格等に関する規程が高等専門学校設置基準に適合することについて、採用や昇格に関して教育上の能力を考慮していることについても言及すること。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第 11～14 条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 教員（非常勤教員を除く。）の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇定めている規程がわかる資料（採用・昇格に関する体制、方法、教員の資格、能力や業績に関する基準等が明記されているもの。）</p> <p>資料 2-3-2-(1)-01 教員の採用・昇格に関する基準がわかる資料 出典「福井工業高等専門学校教員選考規則」</p>
<p>(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を確認する仕組みとなっているか。（該当する選択肢にチェック■する。）</p> <p>■模擬授業の実施</p> <p>■教育歴の確認</p> <p>■実務経験の確認</p> <p>□海外経験の確認</p> <p>□国際的な活動実績の確認</p> <p>□その他</p>	<p>◇実施・確認していることがわかる資料</p> <p>（再掲）資料 2-2-3-(3)-01 公募制を導入していることがわかる資料 出典「教員公募案内例」</p> <p>資料 2-3-2-(2)-01 教育上の能力等を確認する仕組みがわかる資料 出典「福井工業高等専門学校教員選考規則」</p> <p>◆その他の項目をチェックした場合は、内容を列記し、その状況がわかる資料を提示する。</p>

<p>(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◆左記について、採用・昇格の実績を踏まえ、資料を基に記述する。</p> <p>(再掲) 資料 2-3-2-(1)-01 教員の採用・昇格に関する基準がわかる資料</p> <p>出典「福井工業高等専門学校教員選考規則」</p> <p>資料 2-3-2-(3)-01 実際の採用・昇格等の状況がわかる資料</p> <p>出典「事務部作成資料」</p> <p>※教員の採用は、選考委員会に置いて公募書類により一次選考を行い、二次選考対象者を決定する (資料 2-2-3-(3)-01)。この際、本校の教員先行規則に記載のとおり、高等専門学校設置基準をみたしているかどうかを確認される。二次選考では、個人調書 (資料 2-3-2-(2)-01) をもとに、教育歴、実務経験の確認を含む面接審査に加え、模擬授業を求め、総合的に判断して採用の可否を判断している。学内の昇任についてもこれに準じている。</p>
<p>(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇非常勤教員の採用基準等の規程がわかる資料</p> <p>資料 2-3-2-(4)-01 非常勤教員の採用基準がわかる資料</p> <p>出典「福井工業高等専門学校非常勤講師任用基準」</p> <p>(再掲) 資料 2-3-1-(4)-01 非常勤講師の任用計画がわかる資料</p> <p>出典「平成 30 年度 3 月第 1 回教務委員会資料」</p> <p>(再掲) 資料 2-3-1-(4)-02 非常勤講師の任用審査がわかる資料</p> <p>出典「平成 30 年度 2 月第 2 回教務委員会議事録」</p> <p>※本校では、非常勤講師候補者を任用基準 (資料 2-3-2-(4)-01) によって選定し、それを教務委員会において任用計画書 (資料 2-3-1-(4)-01) に基づき審査している (資料 2-3-1-(4)-02)。</p>
<p>2-3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	
<p>評価の視点</p> <p>2-4 教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育</p>	

支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。	
観点 2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。	
【留意点】なし。	
関係法令	(設)第 17 条の 4
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていると判断する <input type="checkbox"/> 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を実施する体制を整備しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 整備している <input type="checkbox"/> 整備していない	◇関係する委員会等の組織関係図、役割と責任が把握できる資料、関連規程 資料 2-4-1-(1)-01 FD を実施する体制がわかる資料 出典「創造教育開発センター規則」 資料 2-4-1-(1)-02 FD を実施する役割がわかる資料 出典「平成 30 年度第 1 回創造教育開発センター会議議事要旨」 ◇実施体制・実施方針・内容・方法がわかる資料 資料 2-4-1-(1)-03 FD を実施する体制（運営規則）がわかる資料 出典「創造教育開発センター運営委員会規則」
(2) 定期的にFDを実施しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない	◇実施状況（参加状況等。）がわかる資料 資料 2-4-1-(2)-01 FD の実施状況（行事）がわかる資料 出典「事務部作成資料」 資料 2-4-1-(2)-02 FD の実施状況（開催案内）がわかる資料 出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書」 ◇FDに関する報告書等の該当箇所等 資料 2-4-1-(2)-03 FD 行事の報告書等がわかる資料 出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書」
(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	◆FDの結果、改善に結びついた事例で組織として把握している取組について、資料を基に記述する。 資料 2-4-1-(3)-01 FD の結果改善に結びついた事例がわかる資料 出典「Moodle 勉強会案内メールおよび資料」 ※ 教務主事団が中心となり、Moodle(学習管理システム:

	LMS) の利用に関する学内ワークショップを開催し、その結果として ICT を活用した授業が増え、授業改善が図られた。
<p>観点 2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 助手を配置している場合には、組織、人数、支援内容等の配置状況がわかる資料を提示すること。</p>	
関係法令	(法)第 120 第 1 項第 1 号、2 号、7 号 (設)第 7 条、第 10 条、第 25 条第 2 項
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
<p>(1) 教育支援者等 (事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。) を法令に従い適切に配置しているか。</p> <p>■配置している</p> <p>□配置していない</p>	<p>◇【別紙様式】高等専門学校現況表、教育支援者に関する事務組織図、役割分担がわかる資料</p>
<p>(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。</p> <p>■配置している</p> <p>□配置していない</p>	
<p>観点 2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ スタッフ・ディベロップメント (管理運営等の研修) への取組は観点 4-2-⑤ で分析するため、ここでは、FD に関連した教育の質の向上や授業の改善に関する教育支援者に対する取組を分析すること。FD への取組の中で教員と教育支援者双方を対象とするものも想定される。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>(1) 教育支援者等 (事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。) に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇研修等の実施状況 (参加状況等。) の取組がわかる資料</p> <p>資料 2-4-3-(1)-01 教育支援者等の研修等の実施状況がわかる資料</p> <p>出典「事務部作成資料」</p>
<p>2-4 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	

基準 2

優れた点

該当なし

改善を要する点

該当なし